

1 年 次 生

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	コンピュータミュージック I	富士崎 仁

科目概要

パソコンを用いての音楽制作に関する授業です。音楽制作ソフトウェア(Cubase)を使用してヒット曲の楽譜を読んで入力を行い、音源制作者の気持ちを理解し、楽曲からアルバム制作の過程を学びます。

到達目標

楽器の演奏ができる人もできない人も楽譜の入力と細かい確認作業を通して音感を養い、ヒット曲をカバーしてアルバムとしてまとめる。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション	授業の進め方と楽曲制作についての説明
第2回	制作者の気持ち	パソコンと音楽制作の現状
第3回	洋楽と邦楽	全てをゼロから作る音楽制作の流れ
第4回	DTMとは	Cubase(ソフトウェア)の使い方と楽譜の基本
第5回	イヤートレーニングと楽器について	各自の耳を鍛える。半音と全音の違いを聞き分ける。 楽器の名前とそれぞれのサウンドについて
第6回	制作作業	MIDIによる入力方法とメジャーコードについて
第7回	課題曲提出	3つのコードを使ったヒット曲を課題曲にして制作し提出

クォーター末試験評価方法

クォーター末時の授業において作成したデータを提出、授業の理解度を確認します。
出席30% 授業態度40% 試験課題30%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ロックンロール	3つのコードで作られるロックンロールの楽曲制作
第2回	メジャー・コードとマイナー・コード	コードの作り方。明るい響きと暗い響きの違い。
第3回	ギターとキーボード	楽器を選択してギターパートとキーボードパートを入力
第4回	ベース	ベースを選択してベースパートを入力
第5回	ドラム	ドラムセットを選択してドラムパートを入力
第6回	音ファイルの種類	音に関するファイル。圧縮、非圧縮のファイルの違い (MP3とWAVなど)
第7回	トラックダウンと書き出し	作った曲の各トラックのレベルを調整してMP3のファイルで書き出し
第8回	学期末試験	長く音楽活動が続けることの重要性の解説と課題曲制作

学期末試験評価方法

授業において作成したデータは毎回提出してもらい授業の理解度を確認します。
出席30% 授業態度40% 試験課題30%

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンピュータミュージックⅡ	富士崎 仁

科目概要

パソコンを用いての音楽制作に関する授業です。音楽制作ソフトウェア(Cubase)を使用してヒット曲の楽譜を読んで入力を行い、音源制作者の気持ちを理解し、楽曲制作からアルバム制作の過程を学びます。

到達目標

楽器の演奏ができる人もできない人も楽譜の入力と細かい確認作業を通して音感を養い、ヒット曲をカバーしてアルバムとしてまとめる。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	カノンとヒット曲の関係①	カノンとJPOPのヒット曲についての関連性についてカノン制作
第2回	カノンとヒット曲の関係②	カノンクイズに挑戦
第3回	カノンとヒット曲の関係③	答え合わせをした後に1曲をフルサイズで制作
第4回	アルバムができるまで	音を作る前の作業について。新人発掘と契約
第5回	レコーディング	契約からレコーディング作業の手順。
第6回	マスタリング	音源制作の仕上げ作業のマスタリングについての解説。
第7回	課題曲提出	洋楽のヒット曲を制作して提出。

クォーター末試験評価方法

クォーター末試験評価方法
 授業において作成したデータは毎回提出してもらい授業の理解度を確認します。
 出席30% 授業態度40% 試験課題30%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	アルバム資料と宣伝について	実際のアルバム資料を見てアルバムやジャケットに必要な文字要素などを確認。
第2回	クリスマスソングとカラオケ	クリスマスソング制作とメロディトラックを抜いてカラオケ制作。
第3回	ヒットがすべて	各自の年間ベスト10とヒット曲。
第4回	カバー曲のヒット	カバー曲の企画とオリジナル曲の比較とヒットについての解説
第5回	CMタイアップとCM音源制作	CMタイアップによるヒット曲の解説。それぞれの曲で一番聞いてもらいたい15秒を編集。
第6回	音楽出版社	音楽出版社の仕事と音作りについて。制作した楽曲の整理と確認作業。
第7回	アルバム制作	オルゴールバージョンのアルバム企画制作。
第8回	アルバム制作	制作した曲から選曲、曲順、タイトル、解説まで入力してカバーアルバムを完成。

学期末試験評価方法

学期末試験評価方法
 授業において作成したデータは毎回提出してもらい授業の理解度を確認します。
 出席30% 授業態度40% 試験課題30%

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	ビジネスコンピュータ I	加藤恵美

科目概要

音楽業界でも、それ以外の業界でも、MS Officeはの操作は最低限必要なスキルです。この授業では来期の就職活動に向けてMS Office操作の習熟度の証でもある、マイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS)検定受験合格を目指して学習を進めていきます。前期では、Wordと、一般書類文書など社会人としての意識も付けていきます。

到達目標

MOS検定の合格を目標とする

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション	この授業の説明
第2回	MOS・Word	MOS(Word)テキストの説明と操作練習
第3回	MOS・Word	MOS(Word)テキストの説明と操作練習
第4回	MOS・Word	MOS(Word)テキストの説明と操作練習
第5回	MOS・Word	MOS(Word)テキストの説明と操作練習
第6回	MOS・Word	MOS(Word)テキストの説明と操作練習
第7回	MOS・Word	MOS(Word)テキストの説明と操作練習

クォーター末試験評価方法

出席率が良く、遅刻がないことを評価
テキストを間違えず持参し、これらを含め90分を「仕事」と捉え集中出来ている事を評価いたします。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	MOS・Word	模擬試験1
第2回	MOS・Word	模擬試験2
第3回	MOS・Word	模擬試験3
第4回	MOS・Word	模擬試験4
第5回	MOS・Word	模擬試験5
第6回	ビジネス文書の書き方1	基本のビジネス文書を学ぶ
第7回	ビジネス文書の書き方2	基本のビジネス文書を学ぶ
第8回	テスト	ビジネス文書の理解確認

学期末試験評価方法

クォーター末(中間)評価に加え、ビジネス文書の理解(テストにて確認致します。)

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	ビジネスコンピュータⅡ	加藤恵美

科目概要

後期ではExcelの理解・練習と、MOS検定合格を目指し、繰り返し巻き返し練習を行い、計画的に申し込みをしていきます。又、90分のPCTレーニングを「仕事の時間」と捉え、社会人としての意識も付けていきます。

到達目標

MOS検定の合格を目標とする

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	MOS・Excel	MOS(Excel)テキストの説明と操作練習
第2回	MOS・Excel	MOS(Excel)テキストの説明と操作練習
第3回	MOS・Excel	MOS(Excel)テキストの説明と操作練習
第4回	MOS・Excel	MOS(Excel)テキストの説明と操作練習
第5回	MOS・Excel	MOS(Excel)テキストの説明と操作練習
第6回	MOS・Excel	MOS(Excel)テキストの説明と操作練習
第7回	MOS・Excel	MOS(Excel)テキストの説明と操作練習

クォーター末試験評価方法

出席率が良く、遅刻がないことを評価
テキストを間違えず持参し、これらを含め90分を「仕事」と捉え集中出来ている事を評価いたします。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	MOS・Excel	模擬試験1
第2回	MOS・Excel	模擬試験2
第3回	MOS・Excel	模擬試験3
第4回	MOS・Excel	模擬試験4
第5回	MOS・Excel	模擬試験5
第6回	MOS・Excel	模擬(ランダム)
第7回	MOS・Excel	模擬(ランダム)
第8回	学期末試験	Word・Excel試験

学期末試験評価方法

クォーター末(中間)評価に加え、MOS検定申し込み・合格、または学期末試験の70点以上

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	映像プロモーションスキル I	山形 栄治

科目概要

映像編集ならびに映像制作全般を学ぶ。
音楽ビジネスにおけるCMの役割を学び、機材になれ実践する。
プレゼンテーションツールとしてのCMを制作していく

到達目標

映像編集ソフトの基本操作、ビデオカメラの操作を身につける。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	apple mac の基本操作	映像制作で使うmacOSの基本的な操作方法を学ぶ
第2回	ビデオカメラ仕組みと操作	自己紹介ビデオ課題制作の準備 企画立案
第3回	企画・コンテ	絵コンテ作成
第4回	実習(カメラ)	撮影で使用するビデオカメラの設定、操作を学ぶ
第5回	実習(撮影)	自己紹介ビデオ素材撮影
第6回	実習(編集ソフト)	映像制作ソフトを使った編集方法を学ぶ
第7回	筆記テスト	macを使用した映像の取り込み方から編集までの基礎知識の理解度をテストします。

クォーター末試験評価方法

出席:20%、授業態度:20%、テスト:60%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	映像作品の仕上げ	自己紹介ビデオの完成ファイルの書き出し
第2回	2Q課題CM制作。企画/絵コンテ	各自コマースルする対象を選び企画書を作成
第3回	絵コンテ/撮影	絵コンテを完成させ撮影を開始
第4回	実習(撮影・編集①)	課題となる映像作品の撮影、編集。個別指導
第5回	実習(撮影・編集②)	課題となる映像作品の撮影、編集。個別指導
第6回	実習(撮影・編集③)	課題となる映像作品の撮影、編集。個別指導
第7回	実習(撮影・編集④)	課題となる映像作品の撮影、編集。個別指導
第8回	作品提出	課題となる映像作品の撮影、編集。個別指導

学期末試験評価方法

出席:20%、授業態度:20%、提出物:60%
1分程度の映像作品を制作。編集、ならびに企画、作品の完成度を見る。

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	映像プロモーションスキルⅡ	山形 栄治

科目概要

映像編集ならびに映像制作全般を学ぶ。
音楽ビジネスにおけるCMの役割を学び、機材になれ実践する。
プレゼンテーションツールとしてのCMを制作していく

到達目標

作品のクオリティーの向上、映像作品の観方を深める。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	3Q課題タイポグラフィ作成	各自好きな楽曲を選び文字を使い映像作品を制作
第2回	タイポグラフィ企画/絵コンテ	どんな世界観で文字を構成し映像作品を制作をするか思考し企画書絵コンテを制作します。
第3回	実習(編集①)	文字の動かし方や映像効果のつけた方などを学びます
第4回	実習(編集②)	課題となる映像作品の制作、編集。個別指導
第5回	実習(編集③)	課題となる映像作品の制作、編集。個別指導
第6回	実習(編集④)	課題提出
第7回	クリティーク	

クォーター末試験評価方法

出席:20%、授業態度:20%、提出物:60%
2分程度の映像作品を制作。編集、ならびに企画、作品の完成度を見る。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	4Q課題ミュージックビデオ制作	各自楽曲を選びMVの企画、絵コンテ作成
第2回	課題 企画/絵コンテ	MVの企画、絵コンテ作成
第3回	実習(撮影・編集01)	絵コンテを完成させ撮影を開始
第4回	実習(撮影・編集02)	課題となる映像作品の撮影、編集。個別指導
第5回	実習(撮影・編集03)	課題となる映像作品の撮影、編集。個別指導
第6回	実習(撮影・編集04)	課題となる映像作品の撮影、編集。個別指導
第7回	実習(撮影・編集05)	課題となる映像作品の撮影、編集。個別指導
第8回	作品提出	課題提出

学期末試験評価方法

出席:20%、授業態度:20%、提出物:60%
1分程度の映像作品を制作。編集、ならびに企画、作品の完成度を見る。

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	プレゼンテーションツール I	古川 早紀

科目概要

IllustratorとPhotoshopの使い方・活用の仕方を学びます。2つのソフトは、音楽業界に限らず、広告(パンフレット、フライヤー、DMなど)、WEB、パッケージ、ロゴマーク、他、さまざまなものをデザインや制作するツールとして必要なパソコンのソフトです。実践練習や課題制作をとおして目的にあったデータの制作方法や表現方法も学んでいきます。

到達目標

IllustratorとPhotoshop、2つのソフトを使用しながら制作する過程やデータについての基本的な理解をし、目的にあったデータ制作をするための対応力・応用力を身につけることを目指します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Illustrator基礎1	ソフトについて/基本操作/図形・線の描き方①
第2回	Illustrator基礎2	図形・線の描き方②/図形(オブジェクト)の選択と基本的な変形①
第3回	Illustrator基礎3	図形(オブジェクト)の選択と基本的な変形②
第4回	Illustrator基礎4	色設定/文字の入力・設定
第5回	Illustrator基礎5	オブジェクトの編集①
第6回	クォーター末課題 作品制作(1)	課題:ロゴマーク・他 制作
第7回	クォーター末課題 作品制作(2)	課題:ロゴマーク・他 制作・完成・提出

クォーター末試験評価方法

クォーター1:クォーター末課題80%、出席率・授業態度20%/課題制作時のソフトを使用する積極的な姿勢や理解度・応用力、作品の表現力や完成度などを総合的に評価します。出席率や授業態度も評価に含まれます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Illustrator基礎6	オブジェクトの編集②
第2回	Illustrator基礎7	線の設定/覚えておきたい機能①
第3回	Illustrator基礎8	覚えておきたい機能②
第4回	Illustrator基礎9	Photoshopの基礎と連携/イラストレーターで制作するデータの目的にあった仕上げ方について
第5回	中間課題 作品制作(1)	課題:カレンダー(仮) 制作
第6回	中間課題 作品制作(2)	課題:カレンダー(仮) 制作・完成・提出
第7回	クォーター末課題 作品制作(1)	課題:フライヤー(仮) 制作
第8回	クォーター末課題 作品制作(2)	課題:フライヤー(仮) 制作・完成・提出

学期末試験評価方法

クォーター2:中間課題40%、学期末課題50%、出席率・授業態度10%/課題制作時のソフトを使用する積極的な姿勢や理解度・応用力、作品の表現力や完成度などを総合的に評価します。出席率や授業態度も評価に含まれます。

学期末:クォーター1と2の平均点

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	プレゼンテーションツールII	古川 早紀

科目概要

IllustratorとPhotoshopの使い方・活用の仕方を学びます。2つのソフトは、音楽業界に限らず、広告(パンフレット、フライヤー、DMなど)、WEB、パッケージ、ロゴマーク、他、さまざまなものをデザインや制作するツールとして必要なパソコンのソフトです。実践練習や課題制作をとおして目的にあったデータの制作方法や表現方法も学んでいきます。

到達目標

IllustratorとPhotoshop、2つのソフトを使用しながら制作する過程やデータについての基本的な理解をし、目的にあったデータ制作をするための対応力・応用力を身につけることを目指します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Photoshop基礎1	ソフトについて/レイヤーの基本操作/色調補正
第2回	Photoshop基礎2	選択範囲の作成/色の設定・操作
第3回	Photoshop基礎3	レイヤーマスクの使い方/画像の修正・加工
第4回	Photoshop基礎4	文字の入力とパス/フィルターとレイヤースタイル
第5回	中間課題 作品制作(1)	Photoshopで制作するデータの目的にあった仕上げ方について /課題: CDジャケット表1 制作
第6回	中間課題 作品制作(2)/クォーター末課題 作品制作(1)	課題: CDジャケット表1 制作・完成・提出 課題: グリーティングカード(仮) 制作
第7回	クォーター末課題 作品制作(2)	課題: グリーティングカード(仮) 制作・完成・提出

クォーター末試験評価方法

クォーター3: 中間課題40%、クォーター末課題50%、出席率・授業態度10%/課題制作時のソフトを使用する積極的な姿勢や理解度・応用力、作品の表現力や完成度などを総合的に評価します。出席率や授業態度も評価に含まれます。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	IllustratorとPhotoshopの連携	IllustratorとPhotoshopを連携するデータ制作について
第2回	中間課題1 制作	課題: 文字や画像の基本レイアウト 制作・完成・提出
第3回	中間課題2 作品制作(1)	課題: CDジャケット アートワークー式 制作
第4回	中間課題2 作品制作(2)	課題: CDジャケット アートワークー式 制作継続
第5回	中間課題2 作品制作(3)	課題: CDジャケット アートワークー式 制作・完成・提出
第6回	クォーター末課題 作品制作(1)	課題: パンフレット(仮) 制作
第7回	クォーター末課題 作品制作(2)	課題: パンフレット(仮) 制作継続
第8回	クォーター末課題 作品制作(3)	課題: パンフレット(仮) 制作・完成・提出

学期末試験評価方法

クォーター4: 中間課題(1&2)50%、学期末課題40%、出席率・授業態度10%/課題制作時の2つのソフト(IllustratorとPhotoshop)のこれまで学んだ機能や手法についての理解度・応用力・積極的に使う姿勢、作品の表現力や完成度など総合的に判断します。出席率や授業態度も評価に含まれます。

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	ビジネスイングリッシュ I	富沢 みずき

科目概要

“話し手の言っていることが完全には理解できない状況” におけるコミュニケーション能力を伸ばしていきます。ペアワークやグループワークをしながら、楽しく学んでいきます。

到達目標

自分の伝えたいことを、自分の英語で発表し、コミュニケーションをとれるようになることが目標です

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Orientation	自己紹介やコースの説明をします。
第2回	Looking over the course	テキストの使い方や授業中に使う英語を確認します。
第3回	Talking about likes and dislikes	好き嫌いについて話します。
第4回	Fluency with money and prices	値段の言い方や聞き方を練習します。
第5回	Describing your family	家族(親戚)紹介をします。
第6回	Review	今まで学習したことを復習し、プレゼンテーションの準備をします。
第7回	Presentation	与えられたトピックでプレゼンテーションを行います。

クォーター末試験評価方法

出席点30%、平常点40%、発表点30%

評価は、授業態度、イントネーションや発音、英語表現を覚え相手に伝えようとする姿勢を重要視します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Talking about things you did	週末の出来事について話します。
第2回	Giving directions, describing neighborhoods	仕事やアルバイトについて話します。
第3回	Describing your daily routines	日課について話します。
第4回	Describing locations objects in a room	物の場所を説明します。
第5回	Review	今まで学習したことを復習します。
第6回	Preparation for the presentation	プレゼンテーションの準備をします。
第7回	Preparation for the presentation	プレゼンテーションの準備をします。
第8回	Presentation	外国人の先生との会話や、与えられたトピックでプレゼンテーションを行います。

学期末試験評価方法

出席点30%、平常点40%、発表点30%

評価は、授業態度、イントネーションや発音、英語表現を覚え相手に伝えようとする姿勢を重要視します。

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	ビジネスイングリッシュⅡ	富沢 みずき

科目概要

“話し手の言っていることが完全には理解できない状況” におけるコミュニケーション能力を伸ばしていきます。ペアワークやグループワークをしながら、楽しく学んでいきます。

到達目標

自分の伝えたいことを、自分の英語で発表し、自信を持ってコミュニケーションをとれるようになることが目標です

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Talking about school subjects you liked	好きな科目について話します。
第2回	Giving instructions, describing how to cook	料理の作り方を説明します。
第3回	Describing current actions	今していることについて話します。
第4回	Talking about the future	将来について話します。
第5回	Describing foods, fruits and vegetables	食べ物の特徴を話します。
第6回	Review	今まで学習したことを復習し、プレゼンテーションの準備をします。
第7回	Presentation	与えられたトピックでプレゼンテーションを行います。

クォーター末試験評価方法

出席点30%、平常点40%、発表点30%
評価は、授業態度、イントネーションや発音、英語表現を覚え相手に伝えようとする姿勢を重要視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Fluency with large numbers	大きい数の言い方を練習します。
第2回	Giving directions, describing neighborhoods	道案内をします。
第3回	Asking for information	いろいろな情報を聞く練習をします。
第4回	Review	今まで学習したことを復習をし、実践力をつけます。
第5回	Review	今まで学習したことを復習をし、実践力をつけます。
第6回	Preparation for the presentation	プレゼンテーションの準備をします。
第7回	Preparation for the presentation	プレゼンテーションの準備をします。
第8回	Presentation	外国人の先生との会話や、与えられたトピックでプレゼンテーションを行います。

学期末試験評価方法

出席点30%、平常点40%、発表点30%
評価は、授業態度、イントネーションや発音、英語表現を覚え相手に伝えようとする姿勢を重要視します。

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	音楽番組制作 I	佐伯 進

科目概要

音楽産業全体から、「放送」における役割を理解します。具体的にはラジオ放送(TVでの音楽番組)とはどのようなものなのか調べ、既存の番組の構成を分析し、番組制作全体の流れを理解します。実際に、音楽番組の企画を行い、放送できる状態まで行います。

到達目標

番組構成の分析、番組制作全体の流れを理解。
音楽番組の企画を行い、放送品質の制作ができる。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	放送局の種類	放送局の種類と聴視率
第2回	放送局の仕組み	タダで聞ける放送 放送局の収益とは・・・
第3回	ラジオ放送の種類	AM・FM・短波・デジタル・・・ラジオ放送の種類を理解します。
第4回	ラジオ番組分析	実際に放送されているラジオ番組はどのような構成になっているのか？
第5回	放送と著作権	放送における著作権とは？どうして自由にラジオで音楽を流せるのか？
第6回	放送倫理	「やらせ」と「しこみ」の違い。制作者に求められる倫理感 放送禁止用語とは
第7回	試験	筆記試験

クォーター末試験評価方法

レポートテーマ「好きなラジオ番組」を1つあげて、以下にあげるキーワードを2つ以上盛り込みレポートを作成。キーワード:聴視者・聴視率・音楽・パーソナリティー(DJ)・構成などの役割、特性など理解度を考察します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	番組制作①	ラジオ番組の企画とは
第2回	番組制作②	番組企画書を考えるワークノート確認 (企画書の作成)
第3回	番組制作③	CUEシートとは (CUEシートの作成)
第4回	番組制作④	基本的な収録機材の取り扱い (音響機器の取り扱い&チェック)
第5回	番組制作⑤	番組企画書とCUEシートを作る
第6回	番組制作⑥	マイクテストなど録音を体験
第7回	番組制作⑦	BGMや選曲について
第8回	試験	筆記試験

学期末試験評価方法

秋学期の番組制作に入るまでに、音楽業界におけるラジオ局&制作現場等の仕組みや番組制作工程の理解度がどれだけあるのかをポイントに、番組制作実施に向けた知識をどれだけ吸収しているかを計ります。

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	音楽番組制作Ⅱ	佐伯 進

科目概要

実際に放送される番組の制作を行い、番組制作企画・構成・CUEシートなど制作し、素材集めなど行います。放送上の倫理感も大変重要となります。自由な表現の中にもルールが存在する事を理解します。音楽番組を聴くだけでなく、実際に制作して初めて分かることもあり、これから様々な音楽業界の職種に付いて活動する時の役に立つカリキュラムとなります。

到達目標

倫理観を持ち、ゼロからリスナーを意識した作品制作ができる

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	番組企画①	番組企画会議①
第2回	番組企画②	番組企画会議②
第3回	放送準備	CUEシートを作成し、情報収集を行う①
第4回	放送準備	CUEシートを作成し、情報収集を行う②
第5回	放送準備	原稿を作成し、CUEシートを作る①
第6回	放送準備	原稿を作成し、CUEシートを作る②
第7回	試験	レポート提出

クォーター末試験評価方法

クラスを3、もしくは4班に分けて制作チームを結成し、プロデューサー、ディレクター、構成作家、パーソナリティー、アシスタント・ディレクターを決定。番組企画を考えます。独創的かつ斬新なアイデアが実現可能な状況で企画されるのかを問います。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	FM番組制作①	プロデューサーを選出し、役職を決定し台本製作
第2回	FM番組制作②	集めた「ネタ」を並べて構成しよう。
第3回	番組収録①	素材を準備していざ本番！
第4回	番組収録②	時間の計算をしっかりと行い、CUEシートに入れ込む
第5回	番組収録③	構成作家・ディレクター・ミキサーの仕事
第6回	番組収録④	パーソナリティーの仕事
第7回	番組試聴	放送終了後の反省会
第8回	試験	クラス全員で番組製作し試聴する

学期末試験評価方法

作品提出 放送したラジオ番組を録音して提出。番組企画書、CUEシートと照らし合わせて、自身が制作した番組は、企画書に基づいた音楽番組を制作出来たかを検証します。自分たちが制作した番組をリスナーとして聴くことで、番組制作の重要ポイントを見つけだすことが出来ます。

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	オリコンを読んで	渡辺博

科目概要

音楽業界誌オリコンを題材にチャートから見てくる時代の流れや業界が求めているものをいち早く授業に反映し、トレンドをリアルタイムに実感する。また業界全体の仕事や具体的な会社名など将来の就職に役立つ知識の蓄積。オリコンを基に読み取れる時代性、ヒント、情報として有意義なもの、すべてを読み取る力を身につける。

到達目標

オリコンを通じて得る知識と情報を独自の発想、発言に変えていく力を養成する。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーションと学生の自己紹介	講師と学生全員の自己紹介。本授業の今後の内容、および評価についての説明。
第2回	今週のチャートから	音楽業界の仕組み。関連図。
第3回	今週のチャートから	音楽業界の職種を細かく分析してみる。
第4回	今週のチャートから	チャートから見える音楽業界を読み解く。
第5回	今週のチャートから	チャートから見える音楽業界を読み解く。
第6回	今週のチャートから	チャートから見える音楽業界を読み解く。
第7回	テスト	筆記試験。

クォーター末試験評価方法

出席率15%、授業態度15%、試験70%
 毎授業の最初にプレゼンテーション力育成のため、ひとりずつ楽曲を紹介してもらいますが、その取り組み態度も2Q末に成績判断のひとつとします。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	今週のチャートから	最新号のトピックスをいくつか取り上げて解説します。
第2回	今週のチャートから	最新号のトピックスをいくつか取り上げて解説します。
第3回	今週のチャートから	最新号のトピックスをいくつか取り上げて解説します。
第4回	今週のチャートから	チャートインするアーティスト、楽曲、そのプロモーション戦略などを考えます。
第5回	今週のチャートから	チャートインするアーティスト、楽曲、そのプロモーション戦略などを考えます。
第6回	今週のチャートから	チャートインするアーティスト、楽曲、そのプロモーション戦略などを考えます。
第7回	今週のチャートから	チャートインするアーティスト、楽曲、そのプロモーション戦略などを考えます。
第8回	テスト	筆記試験。

学期末試験評価方法

出席と授業に取り組む態度を重視します。
 出席率15%、授業態度15%、プレゼンテーション力20%、試験50%

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	就職ゼミ I	西川典彦

科目概要

専門学校入学の目的である「職に就く」ために必要な、基礎的なスキルと意識・心構えを身につける。

講師の考える「良い職」＝「やりがいを感じられ、長く続けたいと思える仕事」に就くには何を考え、実行していくべきなのか？

到達目標

内定獲得のための就職活動をスタートする。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	(10月上旬) オリエンテーション	就職とは、どんなことか？ この授業で繰り返し伝える「良い職」について考える。
第2回	(10月中旬) 自己分析	あなたがやりたい仕事は、あなたに出来る仕事なのか？知識やスキル以前に、自分自身や仕事を勘違いしていないか確認。
第3回	(10月下旬) 夢を実現させるには	自己分析をしたうえで、それでもやりたい仕事があるならそれを実現するための準備をしよう。
第4回	(10月末) 職種に求められること	自己分析と合わせて、あこがれている仕事に求められるものをもう一度確認し、就活の攻略方法を考えてみよう。
第5回	(11月上旬) 志望動機	インターンに応募するうえでも必要になる志望動機。 表面的な書式ではなく、自分を伝えるための志望動機を探る。
第6回	(11月中旬) 就活の進め方	これまでの授業を振り返り、さらにこれからの進め方を確認する。 次回のテストは何を確認するテストか、全体をおさらい。
第7回	(11月下旬) クォーター末テスト	第1クォーターで学んだ内容を確認するためのテスト。 効率的に就活を進める基礎を理解する。

クォーター末試験評価方法

筆記試験

第1クォーターで学んだ内容の確認テスト(ノート類持ち込み可能)

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	(12月上旬) 合同企業説明会を経て	いよいよ具体的な就活のスタート。学内とはいえ企業の方にお話を伺うことで、様々な気づきが得られる。みんなの気づきを共有する。
第2回	(12月中旬) 就活のマナー	面接の現場でのマナーはもちろん、その手前のメールや電話でのマナーを確認して、無駄なくしじりを減らしていこう。
第3回	(12月下旬) 面接での受け答え	面接は応募書類を確認する場ではない。聞かれたことに答えるだけでなく、コミュニケーションをとることの重要性を理解する。
第4回	(1月上旬) これまでの振り返り	大手企業のエントリー受付が始まり、インターンの募集も増える。 3月のエントリーに向けたこれまでの振り返りを行う。
第5回	(1月中旬) 履歴書を書く	これまで学んだことを踏まえ、履歴書を書いてみる。 書きづらいところがあったら、その理由を考えてみよう。
第6回	(1月下旬) 自己PRを考える	自分の強み・弱みを知ることは、就活だけでなく、就職後の仕事の上でも重要。強み弱みを言葉にしてみよう。
第7回	(1月末) 模擬面接	紙や机上ではできても、口頭ではうまくできないことも多い。 人前で繰り返しフィードバックを受けて、面接に慣れよう。
第8回	(2月上旬) 期末考課	秋学期で学んだ内容を確認するためのテスト。 より良い就活を進めるための準備が出来ているか確認する。

学期末試験評価方法

筆記試験

秋学期で学んだ内容の確認テスト(持ち込み不可)

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	音楽著作権 I	担当者: 松山 誠

科目概要

著作権という考え方はいつ頃生まれたのでしょうか？実は著作権は150頃にヨーロッパで発明されたある「モノ」がきっかけとなって生まれたのです！それはいったい何の発明だったのでしょうか？・・・「著作物とは何か？」「著作権とは何か？」「著作権は何故生まれたのか？」「著作権は誰のためにあるのか？」といった著作権の基本中の基本について学びます。

到達目標

著作権の目的や成立、発達の歴史を学び、
著作権が一部の才能ある者の為にあるのではなく広く皆の為にあることを理解する。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	著作権とはなにか？	著作権とはなにか？を「著」「作」「権」という三文字を使って定義づけてみる。
第2回	著作権の誕生	著作物は太古の昔から存在していたが、「著作権」というアイデアが生まれたのは比較的新しい。
第3回	著作物とは何か？	それは著作物か？
第4回	著作物の要件である「創作性」とは何か？	著作権で重要な概念である「創作性」に特に着目する
第5回	著作者とは何か？	著作物は必ずしも「人」が創作するとはかぎらない。
第6回	著作者人格権	人格に権利が付与される法律は「著作権法」だけ！
第7回	理解の確認	

クォーター末試験評価方法

著作権→著作権と著作隣接権→著作権と著作者人格権の相違ができていますか？
評価の方法: レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	著作(財産)権	著作権は権利の束
第2回	著作権の変動	著作者と著作権者は違う！
第3回	ベルヌ条約と万国著作権条約	よく見かける©表示とは何ですか？
第4回	著作権の期限	著作権は永遠不滅の権利ではない！
第5回	著作隣接権	著作物はそれを伝えるものを必要とする
第6回	著作権の制限	著作権は強力な権利であるが、ある局面においては強く制限される
第7回	盗作裁判と著作権	盗作か否かの判断はどこでなされるのか？
第8回	理解の確認	著作権についてのペーパーテスト

学期末試験評価方法

著作権には種類があること、期限があることを理解しているか？
著作権の国際間の保護の実態を把握しているか？
レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	音楽著作権Ⅱ	松山 誠

科目概要

1年次の3&4クォーター及び2年次の1&2クォーターにかけては、「ビジネス著作権検定<初級>」という資格取得を目標に、広く音楽だけにとどまることなく著作権全般についての知識の習得を目指すことにより、著作権法の目的についての知識を高めることを目的とします。

到達目標

資格を取得し、音楽業界で働く意味を理解する。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	イントロダクション	ビジネスと法に関する基礎知識～「契約する」とは何のこと？
第2回	著作権法の目的	著作権法とはどのような法律か？
第3回	そもそも著作物とは何か？ 何が著作物でないか！	猿が描いた絵は著作物か？100円ショップで売ってるコップとガラス工芸家で作ったコップの差はどこにあるのか？
第4回	二次的著作物・編集著作物 データベースの著作物とは？	オリジナルだけが著作物ではない！ビジネスにおいては翻訳・翻案・変形・脚色・映画化など二次的利用形態が非常に多い。
第5回	著作者と著作者人格権	著作者とは誰か？人格権とは何か？
第6回	著作権の代表的権利	複製権など直接ビジネスに結びつく権利を学ぶ
第7回	理解の確認	著作権についてのペーパーテスト

クォーター末試験評価方法

評価の方法:レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	著作隣接権	実演家・レコード製作者・放送事業者の権利
第2回	著作権・著作隣接権の保護期間	期限付きの権利としての著作権
第3回	著作物を無断で利用できる例外	著作権は無限の権利ではなく、制限されている
第4回	著作権の侵害	著作権が侵害されたときはどうするのか？
第5回	インターネットやソフトウェアをめぐる著作権問題	HPに引用するのは自由か？リンクは自由に貼れるか？など身近に起こるIT環境下での問題点
第6回	著作権法周辺の基礎・情報モラルの問題	知的財産全般の基礎・情報倫理問題
第7回	模擬テスト	模擬テスト(1)
第8回	模擬テスト解説	模擬テスト(1)の解説

学期末試験評価方法

評価の方法:レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	イベント企画Ⅰ	村瀬雅美

科目概要

専門性を学習し、社会性を身につけるカリキュラムと捉えます。イベント業界を通して社会の仕組みを学びながら、学生に社会に興味を持ってもらうような展開を考えています。

到達目標

イベントはメディア、企画とは、提案とは、フォーマルな書類の作成を学習して、春学期の到達点「フォーマルな企画提案書の作成」を目指す。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	「イベント企画」講座について	音楽業界を取り巻く環境
第2回	イベントについて	イベントの基礎知識
第3回	提案について	イベント業界における提案とは
第4回	企画について	企画の要素6W・2H ポイント確認
第5回	小テスト	学習ポイントから出題
第6回	末テストに向けて	コンセプトメイキング
第7回	クォーター末試験	提案書の「基本的な考え方」作成

クォーター末試験評価方法

「出欠点」:20%
 「平常点」:20% ※積極性・理解度を判断するために発言する機会を平等につくります。
 「小テストの点数」10% 「クォーター末試験の点数」:50%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コンテンツの作成	コンセプトマップからコンテンツを作成
第2回	提案書の書き方	フォーマルな提案書作成について
第3回	末テストに向けて ①	学習ポイントを確認 書類の作成
第4回	小テスト	学習ポイントから出題
第5回	末テストに向けて ②	社会動向を探る
第6回	クォーター末試験	「イベント」企画提案書作成・プレゼンテーション
第7回	クォーター末試験	「イベント」企画提案書作成・プレゼンテーション
第8回	クォーター末試験	「イベント」企画提案書作成・プレゼンテーション

学期末試験評価方法

「出欠点」:20%
 「平常点」:20% ※積極性・理解度を判断するために発言する機会を平等につくります。
 「小テストの点数」10% 「クォーター末試験の点数」:50%

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	イベント企画Ⅱ	村瀬雅美

科目概要

「実施計画書」の作成などの提案書を通し、社会におけるコミュニケーションのあり方、現場制作などを学習します。また、専門性を重視した各種の提案書作成を通し、総合的にイベントの企画制作のための基礎知識を身につけるカリキュラムにします。
そして、2年生になってから就活を考える時、参考になるような事例も盛り込んだ展開を考えています。

到達目標

社会に目を向けて、イベントの「実施計画書」を作成、プレゼンテーション

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	実施計画書作成にあたり	企画書との違いを事例で検証
第2回	ケーススタディ ①	実施計画書作成 実践学習
第3回	ケーススタディ ②	イベント制作会社(提案者)の利益の上げ方
第4回	ステージ制作概論	図面の読み方・ステージ制作基礎知識
第5回	小テスト	学習ポイントから出題
第6回	ステージ制作予備知識	ブッキング コンサート企画立案
第7回	クォーター末試験	学習ポイントから出題

クォーター末試験評価方法

「出欠点」:20%
「平常点」:20% ※積極性・理解度を判断するために発言する機会を平等につくります。
「小テストの点数」10% 「クォーター末試験の点数」:50%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	現場運営マニュアル	必要な基本情報 広告について
第2回	考える	ビジョン設定と達成度の確認
第3回	1年間のポイント学習	各自のスキルアップ確認
第4回	小テスト	学習ポイントから出題
第5回	末テストに向けて	学習ポイントの復讐
第6回	クォーター末試験	実施計画書作成・プレゼンテーション
第7回	クォーター末試験	実施計画書作成・プレゼンテーション
第8回	クォーター末試験	実施計画書作成・プレゼンテーション

学期末試験評価方法

「出欠点」:20%
「平常点」:20% ※積極性・理解度を判断するために発言する機会を平等につくります。
「小テストの点数」10% 「クォーター末試験の点数」:50%

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	コンサートPA I	丹沢 亜季

科目概要

イベント現場における、技術系の仕事について理解します。
春学期はインスタライブ(カラオケイベント)規模のイベント音響オペレーションの習得を目指します。

到達目標

将来自分が、技術系スタッフと的確かつ円滑に、打合せや指示だしができるスキルを身に着ける事を目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	内容の把握	オリエンテーション
第2回	裏方さん①	イベント、ライブ、コンサート、現場の仕事あれこれ。裏方さんの仕事は誰のため？
第3回	裏方さん②	用語、注意点、書類、必需品等を知ろう。
第4回	舞台、電気	舞台の事を知ろう。電気の事を知ろう。
第5回	音響①	音響基礎知識
第6回	音響②	機材とオペレーション
第7回	クォーター末試験	筆記試験

クォーター末試験評価方法

業界は時間厳守、遅刻はしません。→出席34%(欠席6点、遅刻2点)
業界に入る第一歩。挨拶、積極性等→平常点26%
基本事項を忘れずに！→末試験40%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	イベント仕込み	ミーティング。使用機材説明。班分け。
第2回	仕込み演習①	仕込み～チェック～調整～撤収
第3回	仕込み演習②	仕込み～チェック～調整～撤収
第4回	仕込み演習③	仕込み～チェック～調整～撤収
第5回	本番演習①	仕込み～チェック～調整～リハ～本番～撤収
第6回	本番演習②	仕込み～チェック～調整～リハ～本番～撤収
第7回	本番演習③	仕込み～チェック～調整～リハ～本番～撤収
第8回	学期末試験	レポートの提出と発表。ディスカッション。

学期末試験評価方法

業界は時間厳守、遅刻はしません。→出席34%(欠席6点、遅刻2点)
業界人の常識。挨拶、積極性、協調性、授業態度等→平常点36%
常により良くを考える。反省と課題→末試験(レポート)30%

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンサートPAⅡ	丹沢 亜季

科目概要

秋学期では最終的に自分たちで疑似イベント内容を企画し、本番シミュレーションします。前期に学んだ事をベースに、全体的なステップアップを目指します。音響機材はモニターやエフェクターを含めたフルシステムになります。さらなる積極性、協調性を発揮し、仕事の確実性アップ、スピードアップを目指します。

到達目標

将来自分が、技術系スタッフと的確かつ円滑に、打合せや指示だしができるスキルを身に着ける事を目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	春学期の復習と秋学期の課題の把握	オリエンテーション。復習。プランニング。
第2回	音響③	音響基礎知識応用編
第3回	仕込み演習①	仕込み(フルシステム)～チェック～撤収
第4回	仕込み演習②	仕込み(フルシステム)～チェック～撤収
第5回	仕込み演習③	仕込み(フルシステム)～チェック～撤収
第6回	仕込み演習④	仕込み(フルシステム)～チェック～撤収
第7回	クォーター末試験	筆記試験

クォーター末試験評価方法

業界は時間厳守、遅刻はしません。→出席34%(欠席6点、遅刻2点)
挨拶、積極性、コミュニケーション能力、協調性、授業態度等→平常点36%
自己評価→末試験(レポート)30%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	復習と企画	これまでの技術的復習と期末イベントの企画案出し
第2回	企画会議	期末イベントの企画作り
第3回	イベント準備	各役割ごとに内容の詰め/練習/準備
第4回	イベント①リハーサル	本番に向けての練習、ダメだし
第5回	イベント①本番	仕込み～チェック～調整～テクリハ～本番～撤収
第6回	イベント②リハーサル	本番に向けての練習、ダメだし
第7回	イベント②本番	仕込み～チェック～調整～テクリハ～本番～撤収
第8回	学期末試験	レポートの提出と発表。ディスカッション。

学期末試験評価方法

業界は時間厳守、遅刻はしません。→出席34%(欠席6点、遅刻2点)
挨拶、積極性、コミュニケーション能力、協調性、授業態度等→平常点36%
自己評価→末試験(レポート)30%

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	プロダクションビジネス I	今井良

科目概要

音楽業界全体のビジネス構造の説明と印税などの計算方法。

到達目標

音楽業界全体のビジネス構造を理解し、具体的な計算作業ができる知識を獲得する。またクリエイティブな現場でアイデアを発想出来る方法を身に着ける。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション	自己紹介、音楽業界概要イントロダクション
第2回	音楽業界のスキーム①	音楽業界全体の概要、レコード会社、プロダクション
第3回	音楽業界のスキーム②	イベンター、音楽出版社、その他
第4回	音楽業界のスキーム③	プロダクションの仕事概要
第5回	音楽業界のスキーム④	アーティストやプロダクションの収益構造1
第6回	音楽業界のスキーム⑤	アーティストやプロダクションの収益構造2
第7回	第一Q テスト	音楽業界のビジネス的理解

クォーター末試験評価方法

音楽業界のビジネスを理解し、具体的な計算作業が出来る人を評価します。出席30%、事業態度30%、筆記試験40を勘案し判断。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	第一Q 復習	第一Qテストの解説。
第2回	マネージャーの仕事①	スケジューリング:音源制作、ライブ、プロモーション…
第3回	マネージャーの仕事②	プロモーション: 宣伝、販売促進
第4回	マネージャーの仕事③	制作:音源制作、ビジュアルワーク制作
第5回	マネージャーの仕事④	自由な発想:音楽の種類
第6回	音楽ビジネスの未来	音楽ビジネス構造の変化とその将来
第7回	第二Q まとめ	印税計算の復習
第8回	第二Q末 テスト	マネージメントビジネス的理解

学期末試験評価方法

プロダクションビジネスを理解し、具体的な計算作業ができる人を評価します。出席30%、事業態度30%、筆記試験40を勘案し判断。

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	プロダクションビジネスⅡ	今井良

科目概要

実際にプレゼンテーションすることにより、プロモーションの重要性を理解してもらう。

到達目標

時代に対応したプロモーションをプランニングする力を身に着ける。各人が最も能力を発揮できる業種を選別するに足る知識を学び、さらには業界で成功するための心得を理解する。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	第二Q 復習	第二Q末テストの解説
第2回	新人発掘①	具体的な新人発掘プレゼンテーション
第3回	新人発掘②	具体的な新人発掘プレゼンテーション
第4回	新人発掘③	具体的な新人発掘プレゼンテーション
第5回	新人発掘④	具体的な新人発掘プレゼンテーション
第6回	第三Q まとめ	プレゼンテーションのまとめ
第7回	第三Q末テスト	音楽業界のビジネス的理解とプランニング

クォーター末試験評価方法

クリエイティブな現場でアイデアを発想出来る人を評価します。
出席30%、事業態度30%、筆記試験40を勘案し判断。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	第三Q 復習	第三Q末テストの解説
第2回	新人発掘⑤	具体的な新人発掘プレゼンテーション
第3回	新人発掘⑥	具体的な新人発掘プレゼンテーション
第4回	新人発掘⑦	具体的な新人発掘プレゼンテーション
第5回	新人発掘⑧	具体的な新人発掘プレゼンテーション
第6回	第4Q まとめ	マネージメントのまとめ
第7回	1年間のまとめ	音楽業界の現状のまとめとその未来像
第8回	第四Q末 テスト	1年間の学習した内容の総合的な理解

学期末試験評価方法

具体的な業界全体の知識を持ち、なおかつ将来を切り開く発想力を持った人を評価します。
出席30%、事業態度30%、筆記試験40を勘案し判断。

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	レコード会社研究	氏家滉一

科目概要

今の時代、音楽業界におけるレコード会社の存在感は薄れつつあります。しかし、これまでの音楽業界の機能の中心にはいつもレコード会社がありました。
レコード会社を知ることは音楽業界の根幹を知ることでもあります。
春学期はそのレコード会社の知識をつけるとともにレコード会社の歴史について学びます。

到達目標

これまでこの世代ではなじみの薄かったであろうレコード業界について、学ぶ姿勢を作りつつ、レコード会社の組織、形態、80年代までの歴史を学び、基礎知識をつける。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	この授業を学ぶにあたって	オリエンテーリング、自己紹介
第2回	レコード会社とは？	レコード会社とは何をする会社？メジャーレーベルとインディーズレーベルの違いは？
第3回	日本のレコード会社の現状	世界の中でも独特な日本の音楽業界。データを見ながらそれを確認していく。
第4回	日本のレコード会社について①	日本のレコード会社にはどんなものがあるか？1社ずつどんなアーティストがいてどんな組織でやっているか？を学ぶ。
第5回	日本のレコード会社について②	日本のレコード会社にはどんなものがあるか？1社ずつどんなアーティストがいてどんな組織でやっているか？を学ぶ。
第6回	日本のレコード会社について③	日本のレコード会社にはどんなものがあるか？1社ずつどんなアーティストがいてどんな組織でやっているか？を学ぶ。
第7回	第7回目の授業(試験)テーマ	レポート形式で行う

クォーター末試験評価方法

この世代にはあまりなじみのないレコード業界というものに対して自発的に学ぶ姿勢があるか、レポートで確認する。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	日本のレコード会社について④	日本のレコード会社にはどんなものがあるか？1社ずつどんなアーティストがいてどんな組織でやっているか？を学ぶ。
第2回	日本のレコード業界の歴史①	レコードの発明から戦前まで。
第3回	日本のレコード業界の歴史②	終戦後から1960年代まで。
第4回	日本のレコード業界の歴史③	アメリカ、イギリスのロックの影響を受けた1950年代～60年代。
第5回	日本のレコード業界の歴史④	時代を彩った作家たち。
第6回	日本のレコード業界の歴史⑤	フォーク、ロックの誕生。
第7回	日本のレコード業界の歴史⑥	音楽業界とマスメディアの関係の変化。
第8回	春学期末試験	

学期末試験評価方法

日本のレコード会社についてと歴史についての基礎知識が得られたか？

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	レコード会社研究	氏家滉一

科目概要

90年代にCDが大量に売れたことから学ぶことは何か？2000年以降の音楽業界から気づくことは何か？

マーケティング状況も大きく変わっていく時代の「音楽の伝え方」について学びます。

到達目標

CDの登場からメガヒット時代を経てCDバブルの崩壊までの歴史、音楽のお金の流れなど一歩踏み込んだことについて学び、音楽業界を俯瞰で見ることができる人間を作る。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	日本のレコード業界の歴史⑦	CDの登場～音楽メディアの変化。
第2回	日本のレコード業界の歴史⑧	メガヒット前夜～80年代の音楽状況。
第3回	日本のレコード業界の歴史⑨	90年代～CDバブルの時代①
第4回	日本のレコード業界の歴史⑨	90年代～CDバブルの時代②
第5回	日本のレコード業界の歴史⑩	90年代、ミリオンセラー時代になった理由①
第6回	日本のレコード業界の歴史⑩	91年代、ミリオンセラー時代になった理由②
第7回	3Q末試験	

クォーター末試験評価方法

ミリオンセラー時代にいたる音楽業界の歴史を知識として定着させているか？

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	日本のレコード業界の歴史⑪	90年代日本の音楽プロデューサー時代。
第2回	日本のレコード業界の歴史⑫	90年代スーパーメガヒットの誕生。
第3回	日本のレコード業界の歴史⑬	90年代もう一つのジャンル。
第4回	日本のレコード業界の歴史⑭	2000年代の音楽状況。
第5回	アーティストに関わる契約とは？	録音におけるアーティストとレコード会社、音楽プロダクションの契約とはどんなものか？
第6回	アーティストに入る収入とは？	で、1曲売れてアーティストにはいくら入るの？レコードと配信の収入の違いなど。
第7回	グループディスカッション	これからの音楽業界はどうなっていくのか？をグループディスカッションで話し合い、アイデアを考える。
第8回	学年末試験	

学期末試験評価方法

レコード業界を歴史を踏まえて、お金の流れなど俯瞰でとらえることができているか？

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	コンサートビジネス I	小宮山 博之

科目概要

まず音楽業界用語について学びます。次に「人が集まること」「人を集めること」ということはどういうことか考えていきます。コンサート・ライブを作るための下準備に入り、リーダーを決め、意思疎通できるチームワークについて考え、班に分けてそれを実践します。

到達目標

実際のライブを制作する過程から社会人教育にふさわしい態度、語彙、言葉使い、礼儀などを学び、人を動かすことの難しさを身をもって体験する。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	業界用語の基礎知識①	音楽業界でよく使われる音楽業界用語を抽出し、解説を交えながらわかりやすく説明していく。音楽マネージメント用語50その①
第2回	業界用語の基礎知識②	音楽業界でよく使われる音楽業界用語を抽出し、解説を交えながらわかりやすく説明していく。音楽マネージメント用語50その②
第3回	業界用語の基礎知識③	音楽業界でよく使われる音響照明用語を抽出し、実際に写真を見せて解説を交えながらわかりやすく説明していく。音響照明用語50①
第4回	自分たちのライブを企画しよう	どんなライブが作りたいか。様々な嗜好の学生がいる中で方向性を決めていく
第5回	企画班の立ち上げ	リーダー・サブリーダーを自薦他薦を含め、学生達だけで決めていく。
第6回	ライブ企画書へ向けて	企画書作成に必要となるタイトルや方向性などリーダーが中心となって会議を進める
第7回	第7回目の授業(試験)テーマ	板書の重要性を試験を通じて認識する

クォーター末試験評価方法

平常点20%、授業態度30%、積極性20%、試験点数30%などを鑑み評価する

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	出演者候補だしと出演打診書	複数の人間が同時に打診作業に入るのでその前に誰に当たるか仕分けをする。またその打診にふさわしい打診書を作成する
第2回	出演打診	実際のプロのマネージャーに電話またはメールし、出演打診作業を体験する
第3回	宣伝とデザイン	お客さんにはどのような宣伝方法とデザインが訴求効果が高いか検討しながら、作業を検証する
第4回	当日の役回りの解説と配置	役割分担。当日仕事がなく遊んでるような人を出さない工夫をシュミレーションする
第5回	直前の確認事項	念には念を入れての言葉通り、再度の確認を怠らない。しかし初めての経験で想像しないことが起こるかもしれないとまで想定する
第6回	ライブを終わって	結果を考察。売上、動員、その他の当日の問題事項
第7回	次回に向けて 反省と課題	前回の反省を踏まえて、次回への意気込みを形にする。現実と直面することでクールな修正力を養う
第8回	第8回目の授業(試験)テーマ	変わらず、板書に対する意識付けを強く持たせることに傾注

学期末試験評価方法

平常点20%、授業態度30%、積極性20%、試験点数30%などを鑑み評価する

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンサートビジネスⅡ	小宮山 博之

科目概要

ライブの仕組みやビジネススタイルというものを考えてみます。ライブに対する期待感をあおり集客力のあるライブ企画ができるようになる。集客したお客さんにいかに満足してもらえるか、顧客満足についても考えます。その結果を踏まえて、2回目の企画ライブを立ち上げて交渉を開始します。

到達目標

企画ライブの進行作業を通して、試行錯誤を繰り返し、報告、連絡、などプロレベルでの対応を理解する。実際にそのまま現場に出てもコンサートスタッフとして即戦力レベルを意識します。そしてイベント後には、その実務結果を検証する。内容、売上、イベント映像の鑑賞を実施して次回へレベルアップを図ります。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	前回の反省を踏まえて	前回の問題点の抽出し、工夫を加えながらどのような形のライブが考えられるかアイデアを出し合う。
第2回	次回へ向けてライブ企画	どんなライブが作りたいか。前回の反省を踏まえて、企画の段階から修正を加えてよりよいものを目指す。
第3回	自分たちのライブを企画しよう	どんなライブが作りたいか。様々な嗜好の学生がいる中で方向性を決めていく
第4回	企画班の立ち上げ	リーダー・サブリーダーを自薦他薦を含め、学生達だけで決めていく。
第5回	ライブ企画書へ向けて	企画書作成に必要なタイトルや方向性などリーダーが中心となって会議を進める
第6回	出演者候補だしと出演打診書	複数の人間が同時に打診作業に入るのその前に誰に当たるか仕分けをする。またその打診にふさわしい打診書を作成する
第7回	第7回目の授業(試験)テーマ	板書の重要性を試験を通じて認識する

クォーター末試験評価方法

平常点20%、授業態度30%、積極性20%、試験点数30%などを鑑み評価する

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	音楽業界の仕事①	音楽業界全体を把握していくために音楽業界の成り立ちや各会社の役割、仕事内容を解説。その1回目はレコード会社と契約アーティスト
第2回	宣伝とデザイン	お客さんにはどのような宣伝方法とデザインが訴求効果が高いか検討しながら、作業を検証する
第3回	音楽業界の仕事②	音楽業界全体を把握していくために音楽業界の成り立ちや各会社の役割、仕事内容を解説。その2回目は音楽プロダクションと音制連
第4回	出演打診	実際のプロのマネージャーに電話またはメールし、出演打診作業を体験する
第5回	音楽業界の仕事③	音楽業界全体を把握していくために音楽業界の成り立ちや各会社の役割、仕事内容を解説。その3回目は全国のイベンターと扱うアーティスト
第6回	音楽業界の仕事④	音楽業界全体を把握していくために音楽業界の成り立ちや各会社の役割、仕事内容を解説。その4回目はコンサート関連会社
第7回	コンサート関係会社の解説	関連する会社の求人票などを見ながら解説していきます
第8回	第8回目の授業(試験)テーマ	1年間の集大成として、板書や授業の中での話。

学期末試験評価方法

平常点20%、授業態度30%、積極性20%、試験点数30%などを鑑み評価する

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
春	ライティングスキル I (音楽ソフトビジネス)	伊藤緑

科目概要

文章を書くことの基礎を学びながら、実際に書き、都度、添削 & リライトをしてブラッシュアップしていく。また、単に文章を書くだけでなく、リサーチの仕方も学ぶ。そして、社会に出た際に、使えるようなビジネス文書の書き方、敬語メールの送受信方法など、ビジネス的なこともあわせて学んでいく。

到達目標

自由に文章を書くところからスタートし、他人に伝わる文章へのレベルアップ好きなアーティストだけでなく、幅広くアーティストを知るようにする心構えができているか？ 外部の人へメールを書けることを目標とする。敬語を使えるようになること。敬語を知ること目標とする。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	この講義で学ぶこと。自分の得意なことを発表します	この講義についての理解
第2回	ビジネスメールの書き方を学びます1	パソコンでのメールの使い方
第3回	ビジネスメールの書き方を学びます2	パソコンでのメールの使い方
第4回	ビジネスメールの書き方を学びます3	実際にメールを送ってみる
第5回	気になるアーティストをフリーペーパーから探す	記事の探し方
第6回	自分の好きなアーティストについて書く	文章を提出する
第7回	文章を遂行して提出	文章を提出する

クォーター末試験評価方法

文章の最低限のルールを学び、自由に文章を書くことができるかどうか？
PCによるメールの送受信ができるかどうか？

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	敬語の基本	テキストを使って敬語の基本を学ぶ
第2回	敬語の種類を知る	敬語の種類を覚える
第3回	尊敬語	テキストを使って尊敬語を徹底的に学ぶ
第4回	謙譲語	テキストを使って謙譲語を徹底的に学ぶ
第5回	丁寧語	テキストを使って丁寧語を徹底的に学ぶ
第6回	敬語の復習	尊敬語、謙譲語、丁寧語について再度、復習する
第7回	敬語を使った文章	敬語を使った文章を書いてみる
第8回	敬語が身についているか	敬語についてのテスト

学期末試験評価方法

敬語を使ったビジネス文書を書けるようにする。実際に外部の人とのメールのやり取りをスタートするにあたり、失礼のない文章を書けるようになっているかを評価とする。

ミュージックビジネス学科

学期	科目名	担当講師
秋	ライティングスキルⅡ(音楽ソフトビジネス)	伊藤緑

科目概要

音楽フリーマガジン「レコメンダー」に関わるにあたり、フリーマガジンの在り方と、書き方について学ぶ。実際に仕事として受けた場合のルールなどを身に付ける。

到達目標

音楽フリーマガジン「レコメンダー」のどのコーナーでも、自信をもってやれるようにルールを知り、身に付けることを目標とする。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	文章に深みを出すための表現方法	文章の組み立て方を学ぶ
第2回	SNSについて考えてみる	SNSに書く文章について学ぶ
第3回	映像を観てレビューを書く	音楽に関する動画を見て、実際の仕事をイメージする
第4回	レビューの書き方	レコメンダーで執筆するレビューの書き方を学ぶ
第5回	インタビューの行い方	レコメンダーで行うインタビューの基本ルールを学ぶ
第6回	2019年にやりたいことを書く	年内にやっておきたいことを考えてみる
第7回	レビューを3つ書いて提出	レビューの書き方を理解しているかの確認

クォーター末試験評価方法

CDレビューを書いた文章を読んで判断する。文章を書くことに対する抵抗感をなくすために、好きなものについて書くことからスタートする。合わせて、ブログ等SNSに書く文章についても触れていきます。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	2019年を振り返る	2019年に流行したもの、ヒット商品と言われたものの検証
第2回	映像を見て、レビューを書く	執筆内容で判断
第3回	映像についての解説	文章の修正
第4回	面接の映像を観る	実際に働くことを意識するための映像を観る
第5回	音楽という仕事について、どう理解しているかを考える	自分がやりたい仕事について、今一度考えてみる。
第6回	仕事の広げ方について	ひとつのことだけでは難しい時代に、いくつかのことをやる仕事術について学びます。
第7回	本の1章分を読み、感想を書く	この回をテストとして、文章を読んで感想を書かせます
第8回	第7回で行ったものの振り返り	文章についての理解度を確認します。

学期末試験評価方法

映像や文章を観たり読んだりした感想を書くことと、ビジネス文書を書くこと、レビューを書くことの違いが理解できているかどうか？